

令和7年度 武蔵野市環境啓発施設運営会議（第2回）議事要録

- 1 日時 令和7年6月18日（水）午前10時～11時
- 2 場所 むさしのエコreゾート
- 3 出席者 藤原委員、中西委員、木村委員、村井委員、野村委員、奈良委員、関口委員

4 議事要録

(1) はじめに

(事務局より資料1について説明、第1回議事要録の確認を行った。)

(2) 管理運営方針の見直しについて

(事務局より管理運営方針の見直しについて説明)

- ・管理運営方針の見直しの際は、評価・検証方法のうちソーシャルインパクト評価と、SDGsへの貢献度の検証は難しいため、検討が必要。
⇒(事務局)環境啓発の分野では、不確定要素が多く評価・検証が非常に難しい。ふるさと歴史館などを参考にしたい。
- ・行政の関連部署がエコreゾートにもう少し関わることができないか。
⇒(事務局)運営体制変更の中で、下水道課や緑のまち推進課など部内の連携を強めていきたい。
- ・運営する側が、課題と捉えている箇所をまずは挙げてほしい。
- ・モニタリング評価のアンケート調査について、今後反映したい意見などはあるか。
⇒(事務局)来館者から大きな不満などはない。来場者の大幅な増加など状況が変わってきている。管理運営方針の見直しにおいては、これまで試行錯誤してきたものを形にして継続的に運営できるようにしたい。
- ・管理運営方針は、市のどのビジョンや構想に紐づけられているのか。
⇒(事務局)上位計画には、長期計画や環境基本計画が該当する。ただし政策を位置づけるような行政計画ではない。
- ・事業評価を測定している他自治体の事例などがあれば教えてほしい。
⇒(事務局)視察などでヒアリングしているので、次回までに整理したい。
- ・環境啓発する市民団体の育成にはコストが必要だが、現時点でどのように考えているか。また、どのくらいの期間で考えているか方針があれば教えてほしい。
⇒(事務局)当初は環境の学校がボランティア育成の目的で始まっている。コロナ禍後に市民団体の参加を想定してスキルアップ講座を実施していたが、参加者は少なかった。現在はスキルアップ講座と楽しく環境を学ぶ講座のバランスをとって実施している。市民団体のスキルアップ需要に応じてバランスを変えたいと考えている。

以上